

無意識の思い込みに気づき、 一人ひとりがイキイキと活躍する組織づくりのため ～富山県庁編～

県庁が率先して無意識の思い込みがあるかもという視点をもって
業務に取り組むことを通じて、若者や女性が活躍できる職場づくりの促進や、
政策形成能力を高め、社会全体の気づきを促すことを目的として、
県庁職員を対象とした研修会を開催しました。



職員研修

無意識の思い込みに気づき、一人ひとりが
イキイキと活躍する組織づくりのために

アンコンシャス・ バイアス研修

参加者募集

性別や年代といった属性やこれまでの経験など、自分にも「無意識の思い込み」があるかも、という視点を持って業務に取り組むことで、職場のコミュニケーションの円滑化や政策形成能力を高めることができます。

日時
令和6年 11月13日 水
14:00～16:00

場所
富山県民会館302号室
(富山市新総曲輪4番18号)

申込方法
富山県電子申請サービスにより
11月5日(火)までにお申込みください。
<https://cloud.harp.asp.lgwan.jp/id=qEFslQCp>

定員
県職員 (30名程度)
※役職・職種不問。

講師・内容

性別、年代や役職などにとらわれず、講義やワークショップを通して無意識の思い込みに気づく大切さと、その良い影響を楽しく体験できる研修です。(事前課題などはありません。)

講師
一般社団法人
アンコンシャスバイアス研究所
もりや としとみか
代表理事 守屋 智敬 氏

- アンコンシャス・バイアス (無意識の思い込み) とは？
- 無意識の思い込みに気づかないと職場の人間関係や仕事にどんな影響があるのか？

身近なところに潜んでいるカモ!?

研修旅費は、各所属において支給してください。
会場には駐車スペースがありません。公共交通機関等を利用してください。

問合せ先 知事政策局 働き方改革・女性活躍推進室 女性活躍推進課
TEL：076-444-3328 (内線2645)

受講者が気づいた「私」のアンコンをご紹介します。

職場にて

- ・班員へ仕事を依頼する際に勤務年数や性別で仕事の割り当てをしていた。自分の過去の経験から部下に対してこうすべきと押し付けていた。
- ・部下の話を最後までしっかり聞かずに自分の考えを話してしまう。変化を嫌い、現状維持を好む。
- ・初めて業務をする相手に対し「この業務は難しくてわからないだろうな」と勝手に思い込んで、頼まれてもいないのに一から十まで説明していた。
- ・多くの業務量をお願いする場合は、子育て中の女性よりも男性にお願いしがち。人に対する印象がなかなか変わらないのは、自分がそのように思い込んでいるからかもしれないと感じた。
- ・昨年度は問題なく研修を進行できたので、今年度も前例踏襲すれば安心だろう。
- ・自分が面倒だと思う仕事を若い人をお願いしたら嫌がるだろうから、自分でやってしまおう。

私生活にて

- ・電車で乳児を抱っこして兄弟の幼稚園送迎をしているパパをみかけるようになって1年以上経ち、「まだパパが育児休業中なんだ…」と思っていたが、育児と家事が「パパの仕事」なのかもしれない。
- ・子どもが風邪をひいた際、夫から「自分が病院に連れて行くよ」と言われ、「夫はいつも忙しい」「時短をしている自分が連れて行かなくて」というアンコンがあった。
- ・家族などに対して、「何を言っても無駄だ」と決めつけてあまり話し合いをしていなかったこと。
- ・自分に自信がなく過小評価をして、進学等で高い目標を持つことなく最大限の努力をしてこなかったこと。
- ・「確証バイアス」は、自身に起こりがちだと感じた。自分の意見・望みにあったデータや情報ばかりが目につきそれが正しいと思い込んでしまう。今後は、真逆の意見も検索するなど視野を広げたいと感じた。
- ・車を運転中、親子が見えたので、子どもの飛び出しに気を付けていたが、親だけが飛び出してきた。大人は飛び出さないと思い込んでいた。
- ・出身高校をたずねることには相手を傷つけるかもしれない要素が想像以上にいろいろあること。

一人ひとり違うことを意識して相手と会話することで、新たな視点に上書きされるカモ！？



アルカモ

